

「2021 Getting Our Fair SHARE」 医療格差を無くすためのカンファレンスのご案内

謹啓 コロナ渦中、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

平素よりSHARE Cancer Support にご協力とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

来たる6月23、24日の両日に、SHARE Cancer Supportは「2021 Getting Our Fair SHARE」医療格差を無くすためのカンファレンスを行う運びとなりました。この会議にあたりまして、皆さまからのご意見がアメリカでの医療格差を無くすための貴重なものになることと確信しております。

このカンファレンスには、医療に関わる重要と思われる4つの分野の方々にご参加いただきます。

1. 乳がん、卵巣がん、子宮／子宮内膜がん、子宮頸がん、転移性乳がんの経験者、またそのご家族
2. 女性のがんの患者支援、または女性のがんを研究をする非営利団体
3. 女性のがんに取り組む医療専門家
4. 企業や政府で女性のがんに取り組むお仕事をされている多様性のある専門家やリーダー

1日目は、上記の各スピーカーが集まり、参加者の見守る中、人種や民族別においての問題をオープンに発表し討論を行ってまいります。

黒人／アフリカ系アメリカ人、ラテン女性、そしてアジア系アメリカ人／太平洋諸島民の論議に続いて、それぞれの10人の参加者と、ファンリテーターの進行でこれからのアイデアが論議されます。

2日目は、医療格差を変えた研究の例に焦点を当て、少数のグループの一人一人がどのように行動を起こすことで、具体的に変化を起こすことが出来るかをご紹介します。

この会議に皆様をご招待させていただき、独自の視点と専門知識をお借りすることで、医療アクセス、医療経験、そして医療結果に格差をなくすことができたらと思っております。

またご参加いただける皆様には、SHARE Cancer Support がこれからも、医療格差の課題に優先して取り組んで行くことが重要であることと認識していただけたらと思っております。

このカンファレンスは招待制で無料となっておりますの。ぜひ「Getting Our Fair SHARE」医療格差を無くすためのカンファレンスにご参加いただけますようお願いいたします。

SHARE Cancer Supportは、サービスの行き届いていない地域社会に焦点を当て、女性のがんに取り組んできた長い歴史を持ち、この重要な会議を開催できることを誇りに思っております。

ぜひご来場くださいますようお願い申し上げます。

謹言